

### 第3回大刀洗町住民協議会議事要旨

コーディネーター	荒井英明（神奈川県工業内陸団地事務局長，構想日本特別研究員）
ナビゲーター	—
説明担当者（自治体）	建設課管理係
日時	2021年2月6日（土） 13時00分から16時00分
場所	ぬくもりの館大会議室
その他	参加者数 15名 欠席者数 10名

#### 趣旨・概要

1. 前回の振り返り・今回の内容確認
2. 議論

#### 協議の流れ

1. 前回の振り返り・今回の内容確認

コ：まずは、初参加の方に自己紹介をいただきたい。

委：町に居住して22年。子どもたちが小さい時に運動公園を利用していた。大刀洗公園は居住の地区から距離があるので、車で来て、犬の散歩などをしている。知人に聞いた話だが、大刀洗町は電車の沿線上で利用しやすく、住みやすいと聞いた。久留米や福岡にも簡単にいられるので、自身もいい点だと感じている。

コ：前回、家族や友人などに公園について話をしていただきたいと皆さんに宿題を出した。その内容をまずは伺いたい。

委：柵があった方がよいという意見と、設置はせずに子供の危険予知トレーニングの意識付けという両方の意見があったが、柵はあった方がよいという方が多かった。

委：居住地から公園が遠く、どこにあるか未だにピンと来ていない。同じ居住地の人達は、わざわざ大刀洗公園に行くことはないのではないかという意見をいただいた。

大刀洗公園を有効に使うのであれば、ドリーム祭の会場を現状の町役場と公園とで分散させて開催すれば、居住地の遠近に関わらず参加することが出来るようになるのではないかということであった。

委：子どもを含めた家族に聞いたところ、ボールや凧などの遊具の貸出があったらいいのではないかとのことだった。

委：柵について友人と話したが、弁当と怪我は自分持ちの考え方は時代遅れではないかとのことであった。自身は美観を考えたらずらな方がよいと思っているが、危なかったり、法に触れるようなことであれば、事前に柵を作る必要があるとのこと。川に落ちたなどして、怪我をしたときに誰が責任を取るのかという法的な問題を役場の人が考えて、作るか作らないかを考える必要がある。作るのであれば、美観を考慮して、木目調のコンクリート柵が良いのではと思う。

遊具についても考え方は同じで、安全性を考えて業者が設置をすると思うが、その後のことを考える必要がある。

委：公園の近くに住んでいる友人に話を聞いた。目の前に住んでいても、ここが公園という感覚が薄く、利用者を増やすのであれば案内看板の設置が必要だろうとのことであった。

また、芝生広場をどこまで、どのように使っていいのかが決まっていけないので、ルールを明確にした方が子どもも遊びやすくなるのではないのではないか。遊んでいる途中で「それはやってはダメ」と言われたら、来なくなると思うとのこと。

コ：前回ナビゲーターから話の合った「怪我と弁当は自分持ち」という全て自己責任という話から、公園の中で起こったことは全て役場の責任という話まで、間は非常に幅広い。公的施設なので、どこかにルールは必要になると思う。

この住民協議会には、唯一の正解というものはない。一番大事なことは、皆さんが「自分ごと」として考えること。ルールを作ることが最終目的ではないので、自分たちの公園のことは自分たちで考えようということで皆さんにはお集まりいただいている。色々な意見があると思うが、最終的には皆さんの総意として結論を出していきたい。

第2回の議論の振り返りの資料をご用意いただきたい。

まず、利用者の世代については、子どもから高齢者まで大勢の人に使ってもらえる公園が良いということ。町の政策と併せて考えても、特に子育て世帯や中高生も含めた子どもたちが利用しやすい方が良いとのことであった。日本全国で人口が減少する中、町の人口が増加しているという「住みやすさ」が、子どもたちや子育て世帯にとって環境が良い街という、政策と合致している部分もある。

次に、利用者の居住地だが、公園の近くの人と公園から距離がある人とは大刀洗公園についての認識や意識が異なる。公園の近くに住んでいる人は「自分たちの公園」という意識があると思うが、距離がある人達はそういった意識が薄いのかもしれない。自分たちの町の公園だと意識をしてもらうためには、イベントを開催するなど、全町民が利用できる公園にした方が良いのではないかと先ほどご意見もいただいた。全町民が利用しやすくなるにどうしたらよいかということも、今後考えていく必要がある。全町民が利用しやすい公園になっていれば、結果的に近隣市町に居住している人が利用するようになり、口コミが広がることで、ますます大刀洗町の良さが広がり、更には大刀洗町で子育てをしてみようという副次的な効果が生まれる可能性があるという期待もある。

利用方法については、ただ芝生があるだけの公園ではなく、遊具が必要だということ。子どもたちの年齢に応じて、ゾーニングが必要という意見もあった。中高生を対象にするのであれば、新たな遊具が必要になるかもしれないということであった。また、ウォーキングはただ歩くのではなく、歩き方や歩いた距離、消費カロリーがわかるようになればいいという意見もあった。健康課では、住民を交えて会議をしているということで、マップを持参してくれた。

傍聴：2か所に看板を設置しようと考えている。（※健康課職員）

コ：ただウォーキングをするだけではなく、人と人の繋がりがあがり、歩ける公園が良いのではという意見もあった。夏祭りや中高生の演奏会などという意見は、ドリーム祭の会場の意見と同様で、イ

ベントとしての使い方という考え方になる。

柵を作るか作らないかに関してはまだまだ議論が必要と思うが、この協議会としては、ヒヤリハット、危険であることの啓発は行った方がいいのではないかと思う。

ライトアップの意見についてだが、費用が掛かることでもあるので、まずは自分たちでスマートフォンや懐中電灯を用いて照らしてみるという考え方もある。その他、公園に行くまでのルートを安心にする、公園に行くまでのバスを設けたらどうかというような意見、トイレは建築物として綺麗な外観に絵は描かない方が良いなどの意見があった。

議論から見えてきた公園のコンセプトを考えてみると、子どもから高齢者までが楽しく使え、集える公園。特に中心になるのは子育て世代。そのためにも遊具と遊ぶ場所のゾーニングを行う。例えば、公園デビューのような、幅広い世代の新たなコミュニケーションの場になるのではないか。

## 2. 議論（要旨）

委：菊池校区に住んでいるものからすると、大刀洗公園ではなく菊池公園の名前で通っていると思う。また、案内看板が少ないと感じている。町内に公園を示す看板は何個あるのか。

担：看板は入口のところに一つと認識している。名称は条例で「大刀洗公園」と設定されている。名称を変えたとしたら条例改正が必要になってくる。

コ：大刀洗を調べると必ず菊地公に辿りつく。公園と菊池武光像の関係を皆さんはどのようにお考えなのか伺いたい。

委：菊池武光像がある側だけの公園だった時には菊池公園と教わっていたので、菊池公園としてのイメージがある。地名の由来など町の歴史として、菊池武光のことについてわかりやすく解説された表示が必要だと思う。特に芝生側しか利用しない人は、像のことをあまり知らないのではないか。公園とプラスして知ってもらうための方法があればと思う。

委：子どもたちは大刀洗公園と言っている。上の世代の方が菊池公園と言っている印象。

コ：子どもたちは大刀洗の名称の由来を知っているのか。

委：学校の授業で習っている。私たちよりも詳しいかもしれない。

委：大刀洗公園から離れた校区に居住しているので、大刀洗公園と聞いてもピンとこない。菊池公園と聞くと何となく場所のイメージが出来るので、広く皆が想像できるのではないか。

菊池武光の名前が出てくるイベントなどがあまりない印象。せっかく像があるので、公園内で行う夏祭りや中高生の演奏会などのイベントと絡めて歴史も学べるような形にしてみたらどうかと考えた。

委：「菊池にある」という冠言葉を付けるのはどうか。また、太刀を洗ったという歴史と像の土台に大空襲で弾痕が残っているという歴史のどちらに持っていくのかという点も考える必要があると思う。

担：パンフレットや看板などであれば対応の可能性はあると思う。

委：町の人にアピールをするのであれば菊池という名称も必要だと思うが、将来的に町外の人達にもアピールのしていくのであれば、個人的には大刀洗公園という名称は変更しない方が良いと思っている。子どもたちにも大刀洗公園で浸透している。

特攻ということでは、鹿児島県の知覧が有名だが、大刀洗を本拠地に知覧に移動していたという歴史は大刀洗町に居住してきて知った。そういう意味では意味深いことと思う。2回ほど公園に行ったが、記念碑があまり目立っていない印象を受けたので勿体ないと感じた。

委：子どもたちには大刀洗公園で浸透しているので、名前は変えない方が良いと思う。像のところに歴史も書いてあると思うが、読んでいる人はあまり見たことがない。

コ：歴史が書いてある看板はいつ頃作成したものか。

担：20年弱くらい前だと思う。

委：公園を増設するときに不発弾が発掘された歴史もあるので、そういったことも加えてはどうか。

コ：文化の所管は。

担：生涯学習課になる。

委：皆が利用する芝生と高台にある像、真ん中には川が流れているので綺麗にゾーニングで来ていると感じている。

菊池公園の菊池は、校区の名称から来ているのか、菊池武光公から来ているのか。

委：菊池武光公から来ている。

委：すると、菊池武光公園という名称も選択肢に入ってくるのではないか。

コ：全国には、〇〇公園（△△公園）のように愛称や俗称を（ ）書きにしている公園もある。ネーミングは必ずしも一つにしなければならないということではないと思う。芝生広場を活かすということと、像を活かすというバランスを取ることは大刀洗公園のポイントであるように思う。

委：農産物が多くあるので青空市のようなものがあると子どもを連れて行けると感じた。

コ：人が集まるのは遊具だけではなく、イベント等も必要ということと思う。

委：公園に人を集めるというのは、どれくらいの人数をイメージしているのか。

コ：理想の公園を考える時に、まずは公園があることを認識してもらうためにイベントなどを行い、その結果、良い公園があると認識をしてもらえれば人が集まるという流れになる。なので、人を集めたいということではなく、何かをきっかけに公園を知ってもらう。その手段の一つとしてイベント等があるということ。

委：公園を作るときには構想が先ずあり、公園のコンセプトが出来上がったと思う。その構想やコンセプトを設けた経過を知りたい。公園の名称が変わった理由もわかるのではないか。

担：条例を確認すると名称は昔から大刀洗公園になっている。公園の作成にあたっては基本計画があり、それに沿って作成されている。公園のコンセプトは4つある。

- ①大刀洗の歴史を活かした公園づくり
- ②日常的な憩いやレクリエーションの場となる公園づくり
- ③水を活かした公園づくり
- ④花の風景づくり

コ：これまでいただいた意見も今のコンセプト中に包含されるものもある。新たな言葉や視点をコンセプトに加えてもいいと思うので、これについてご意見をいただきたい。もちろん、改善提案シートにご記入いただいてもいい。

委：祭礼やイベントなど様々なバリエーションに応じた公園づくりはどうか。

委：一つの公園に全てを集約させるのではなく、町内の全ての公園にコンセプトを分散させて、それぞれ特徴を持たせるのも手だと思う。

コ：歴史というキーワードが入っているのは大刀洗公園だけか。

担：下高橋官衛遺跡公園にも含まれる。

委：今あるコンセプトを基本と位置付けた方が良くと思う。コンセプトを大きく変えてしまうと作り変えることになり大きなコストになるのではないか。なので、既存コンセプトに追加する考え方の方が良いのではないか。

コ：サブコンセプトという考え方も出来る。

委：例えば、前回出た意見のようにバスケットゴールを置くという意見を考えると、健康・スポーツというものが加わるのではないか。

委：ウォーキングコースを整備するという話があったが、ウォーキング大会のようなものを開催する可能性は。そういった企画があるのであれば、健康を付け足すのは良いと思う。

委：ポケモン GO をやっている。大刀洗公園にはジムとポケストップが複数個あるので、スポットを増やして、皆で出来る公園にしたらどうか。

コ：ゲームとタイアップするということも考えられる。

委：居住者も町外の方も含め利用者が増えてほしいという目的の裏にあるものを前面に出して「町が元気になる公園」というのはどうか。

コ：どういった状況になると町が元気になったと感じるか。

委：人口が増えたり、子どもの数が増えるというものがわかりやすいと思う。

コ：人口増による税収が増えるというのもある。その増加分で子育て支援をすればさらに元気になることも考えられる。

抽象的なものでもいいと思うので引き続きご意見をいただきたい。

委：既存の花の風景づくりというコンセプトに関して、今ある花以外にも目玉となる花があれば人が集まってくるのではと感じた。また、歴史の部分で、過去に飛行場があったということもアピールしてもいいのではないかと感じた。

委：歴史の話で、今村カトリック教会のことを他地域に居住している人から言われることが多い。そのようなインパクトのあるものと公園が紐づく観光に来る公園になるのではないか。

委：コンセプトの話からはずれるが、住民協議会に参加をしてから公園に行く機会があり、そこで気付いたことは、椅子が老朽化していて危険だと感じた。また、川が汚いということにも気づき、私たちが清掃をしてもいいのか。

コ：川のゴミというのは具体的にどういったものか。

委：流れてきたゴミが溜まってきている箇所があった。

コ：前回、大刀洗川を綺麗にするグループがあるという話があったが、民間の方が清掃しても問題ないか。

担：差し支えない。

コ：この機会に、川を綺麗にする会と住民協議会の繋がりを利用して、広く参加者を募ることをしてみてもどうか。川だけではなく公園を綺麗にするグループに発展させて、自分たちの手で綺麗にしていこうという動きは考えられるか。

委：菊池校区の地区の役員＋有志でグループを作っている。7月と10月に行っているが、1回に100人くらいが集まる。川の中までは出来ないので、川の土手の草刈りや台風で堆積した泥を上げるなどを行っている。川底のヘドロはすくった方が良く感じているが、水量が少ないので、掘ってしまうと水がなくなる恐れもある。

芝生や園の清掃活動は行っていない。

コ：公園の管理も行ってもらえるとなったらどうか。芝刈りをお願いするのではなく、定期的なゴミ拾いなどの範疇でお任せすることも出来ると思う。

委：町が委託している管理人がいる。

担：ゴミが落ち続けているといった苦情は聞いたことがない。

委：ゴミが落ちるほど利用している人が多くないとも言える。利用している人も、公園の中で飲食をするというよりは、散歩や子どもを遊ばせたりに限られているのでゴミが出ない。

コ：公園に遊びに来ている人からすれば、川は綺麗な方が良くは思う。

委：年に2・3回水が白濁するのは問題だと思う。

コ：自分の持ち物は自分で綺麗にするように、自分たちの公園だという意識を持つためには、自分たちで公園を清掃するという事は大事だと思う。どのような公園にしていくかという議論をするのも、自分だったらどのように使うだろうかということを考えるためである。

自分のものは自分で綺麗にするということが基本だとすると、地域の方だけでなく利用者も含めて公園や川、像を自分たちで綺麗にする取り組み、言い換えれば利用者の「公園の自分ごと化」が進むような仕組みができるといいと思う。

委：菊池校区には回覧板で情報が回るが、それ以外の校区に住んでいる人には情報が行かない。

コ：何か方法が考えられるといい。ウォーキング大会やドリーム祭の会場、即売会などもイベントだが、公園を綺麗にするイベントというものも考えられるのではないか。

委：水中に落ちているゴミが多い。川や池の中に入ってはいけないという規制があると記憶している。ゴミは上流から流れてきているものがほとんどだと思う。

担：「川の中は危険なので入らないで」ということを行政としては推奨している。

コ：川の中のゴミを拾うという直接的な行動だけでなく、川も含めて公園全体を綺麗にする取り組みが出来たら良い。ゴミが出たら行政が掃除をするという繰り返しでは、いつまで経ってもゴミを捨てる人が絶えないのではないか。

委：川の中に入って良いことにすれば清掃に協力してくれるのではないか。

担：川に入っはいけないという規制、禁止はない。危険な所なので啓発をしている状況。

委：あの水の中に入りたいとは思わないので、網などがあれば掬ってもいい。水のコンセプトの中に大  
刀洗川は入っていないのでは。あんなに汚い川はコンセプトに入れてほしくないとも思う。

担：コンセプトには入っていると思う。

委：子どものころは綺麗だったが、時代の流れとともに汚くなっていった印象。水をコンセプトにする  
のであれば、牡蠣殻を入れるなどして水質浄化をする措置が必要。

コ：網で掬う方法などは次回までに担当課と協議する。

町が元気になる公園というものをいただいたが、人と人との繋がりが町のセールスポイントなので  
はと感じている。例えば「繋がりの公園」や「町が元気になる公園」というサブコンセプトもいい  
のではないか。公園デビューで母親どおしが繋がるきっかけになるのではと思う。子育て中、子育  
てを経験された方が多い中で、このつながりについて意見をいただきたい。

委：公園はとてもいい情報源になると思う。

委：遊具の周りのベンチが多くあればコミュニケーションの場も増えるのではないか。

コ：仮に、遊具を更新する際に屋根付きのベンチのような親が子どもたちを見守るスペースを設けるこ  
とは考えられるか。

担：遊具の更新に合わせてベンチの設置も可能だと思う。屋根については検討する。

委：子どもとおやつを食べようとしたときにどこで食べるか迷った記憶がある。子どもが小さいと、イ  
ベント広場の東屋まで移動するのは難しい。遊具の周りにベンチやテーブルがあれば知らない方と  
の交流の場にもなると思う。

コ：理想を言えば、遊具の近くにベンチがあり、少し離れたところに東屋付きのテーブルがあるといい  
ということか。

委：前回の意見に「ちゃお」の催しを芝生広場でというものがあつた。自身の子どもも「ちゃお」に通  
わせていた経験がある。参加するのは同じメンバーで、自分の子どもと同じくらいの年齢の子を持  
つ方が多く、悩み相談が出来たり、預ける形になるので自分に交流をする余裕が生まれることから、  
そこで知り合ったお母さんとはママ友として今でも交流がある。ベンチなどがあつても、単独で公  
園に行って交流をしたとしてもその場限りになる可能性が高いと思う。



コ：大刀洗町の子育て世代の特徴として、子育ての悩みが、実家が近くになくという都会型に近い特徴があると感じている。ネットワークが出来て、かつ悩みが解決できるきっかけになるのは非常に良いと思う。こういった手法が考えられるか、役場と考えたいと思う。

繋がりといいことで言えば、ウォーキングをする方、健康志向の高齢者のネットワークづくりのきっかけの場にもできるチャンスがあると思う。

委：公園をどのようにアピールしていくのが一番のポイントだと考えている。知らない人が多いのが難点だと思うので、堅苦しいものではなくフレンドリーなPRが出来れば良い。

コ：これまでいただいてきた意見が現実のものになる時には、大きくアピールをしたい。こういった方法があるかについても考えたい。

委：「広い駐車場と広い芝生広場があります。あなたも公園デビューしてみませんか。」というフレーズを考えた。

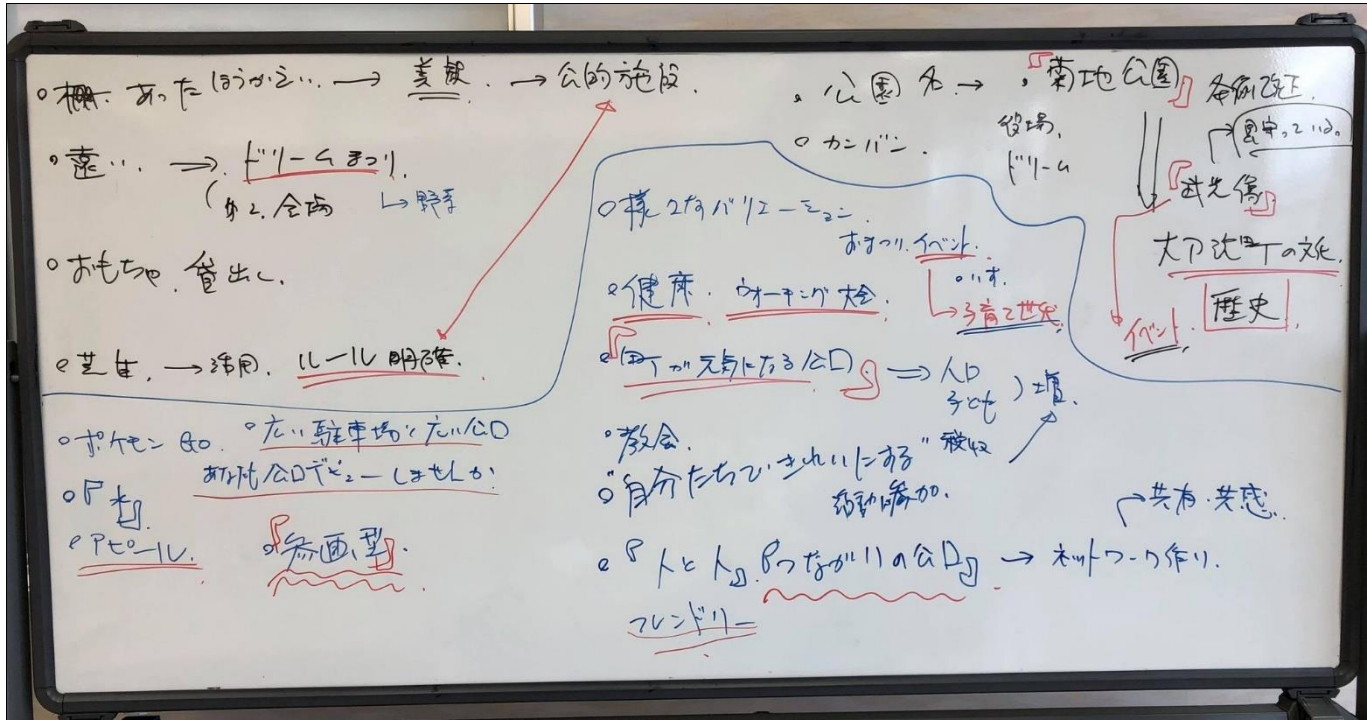
貝殻を用いた浄化剤を作っている会社があるので、タイアップをしてぜひ水質浄化をしていただけたらと思う。水をテーマにした公園なら、綺麗な水であってほしい。

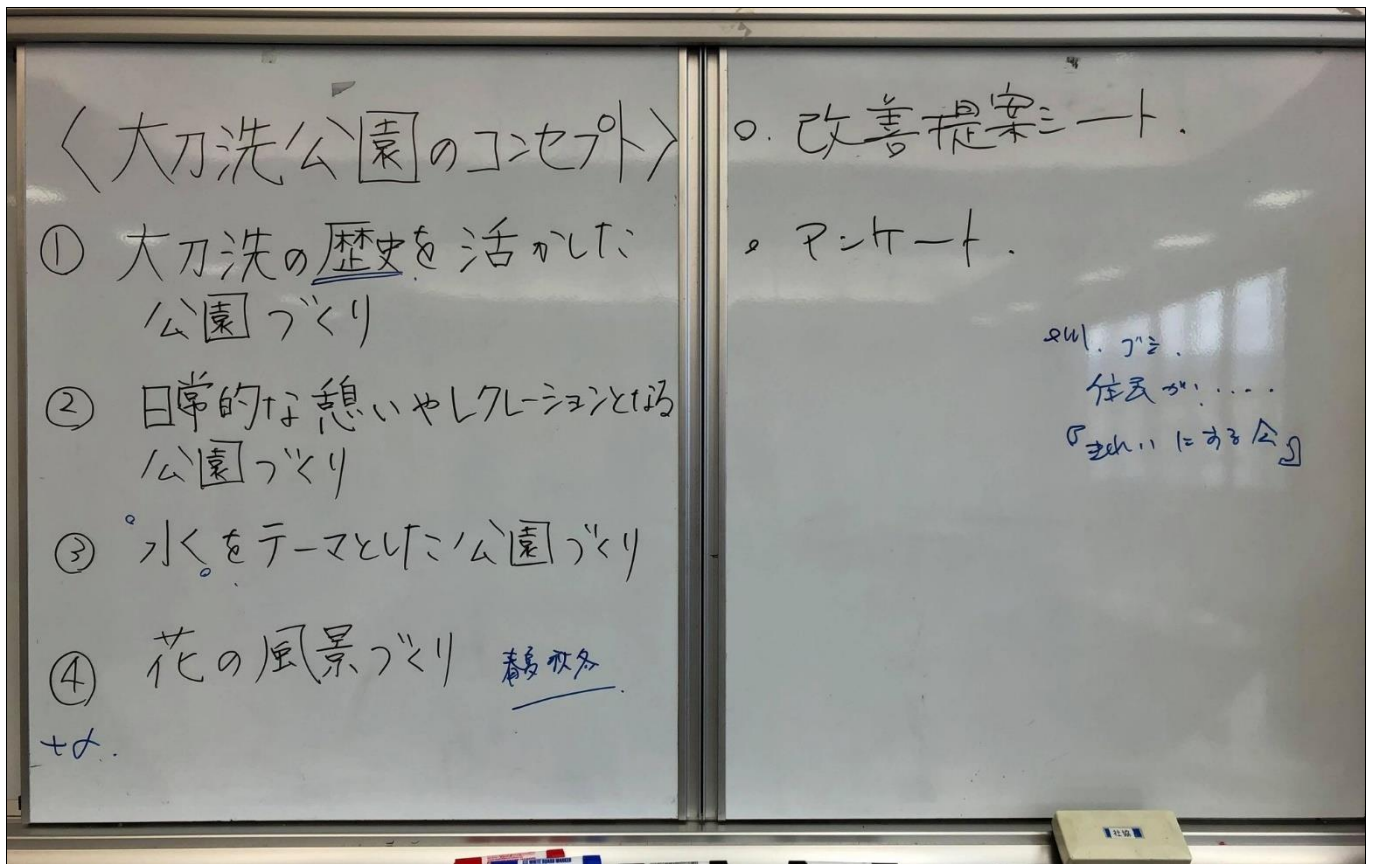
委：子どもたちが遠足に来て、自分の好きな花を植えられる花壇があつたらいいと思う。

コ：住民参画型の花壇は新しい発想と思う。

公園というスペースを有効活用するには、施設も勿論必要だが、使われ方が大きなポイントになる。集うことによって人と人とのつながりが出来たり、悩みが解決されることが自分自身の健康や幸福感に繋がるものだと思う。

ホワイトボードの写真





#### 次回の協議会に向けた準備

##### 次回の協議会の目標

➤

##### 次回の協議会に向け準備する資料等

➤

#### 備考 (その他、記録すべき事項を適宜追加)